

「医学を基礎とするまちづくり」を

— 準備委員会が初のオープンセミナー —

基調講演は奈良県立医科大・梅田教授 最新機器で暮らし見守り

医学を基礎とするまちづくりの推進を目的とした「医学を基礎とするまちづくり」準備委員会(以下、準備委員会)が、このほど奈良県立医科大の梅田教授を講師として、最新の医療機器などを紹介するオープンセミナーを開催した。この日は、準備委員会のメンバーのほか、関係者など約15人が参加し、午前10時から午後2時までの約3時間、基調講演と質疑応答が行われた。

基調講演は、梅田教授が「最新の医療機器で暮らしを見守る」と題して行われ、最新の医療機器を紹介し、その活用方法や、まちづくりへの応用について話した。梅田教授は、最新の医療機器は、人の健康を守るだけでなく、まちづくりにも活用できることを強調した。

行政やNPOなどの15人参加

準備委員会のメンバーのほか、関係者など約15人が参加した。この日は、準備委員会のメンバーのほか、関係者など約15人が参加し、午前10時から午後2時までの約3時間、基調講演と質疑応答が行われた。



医学を基礎とするまちづくりについて学んだ第1回のオープンセミナー(藤町で)

準備委員会のメンバーのほか、関係者など約15人が参加した。この日は、準備委員会のメンバーのほか、関係者など約15人が参加し、午前10時から午後2時までの約3時間、基調講演と質疑応答が行われた。

「四角」

つに上った四角は、医療機器は「最新の医療機器」であり、最新の医療機器は、人の健康を守るだけでなく、まちづくりにも活用できることを強調した。

サービスを生活の一部に

最新の医療機器は、人の健康を守るだけでなく、まちづくりにも活用できることを強調した。最新の医療機器は、人の健康を守るだけでなく、まちづくりにも活用できることを強調した。

健康保つために気象を利用

石川社長は、最新の医療機器は、人の健康を守るだけでなく、まちづくりにも活用できることを強調した。最新の医療機器は、人の健康を守るだけでなく、まちづくりにも活用できることを強調した。

最新の医療機器は、人の健康を守るだけでなく、まちづくりにも活用できることを強調した。最新の医療機器は、人の健康を守るだけでなく、まちづくりにも活用できることを強調した。